

**【授業の到達目標および概要】**

中学校・高等学校家庭科教員専修免許状取得の為の必修科目である。変動する社会、経済の中での生活認識のあり方と生活価値についての考え方、教育における生活学について、現状を理解し、家庭科教育研究の方向性について考える。理論的な裏づけのもとに、学習指導要領で求める家庭科についての理解を広げ、専門的な指導ができるようになる。

**【授業計画】**

- ① ・生活価値観と生活文化、変動する社会と家庭生活・消費生活
- ② ・少子・高齢社会の生活教育学、環境保全と消費社会の生活教育学
- ③ ・情報化社会における生活教育学
- ④ ・家庭科教育と食生活の教育－食品・栄養・調理
- ⑤ ・衣食住の総合としての人間生活－衣食住の教材化と指導法
- ⑥ ・家庭科教育学における研究の動向
- ⑦⑧ まとめ

履修者によっては、取り上げる項目や時間配分を変えることもありえる。

**【授業外学習】**

家庭科教育に関する論文1本のレジュメ作成

**【成績評価の方法・基準】**

提出物 50%・授業への参加態度 50%

**【教科書】**

随時プリントを配布する。

**【参考書】**

参考文献・資料等については、授業の際に指示する。